別表第二十号の十五　TMCC信号の構成及び送出手順(第23条の14第1項関係)



注

1　TMCC情報は可変長とし、別記1に示すとおり必要に応じて複数個のLDPC符号によって伝送する。

2　パディングは、TMCC情報の情報量がN_Tビットのとき、ceil((N_T＋K_o)／N_i)×N_i－N_T－K_oビットの‘1’をTMCC情報の末尾に付す。ここで、ceil(x)はx以上の最小の整数、N_iは内符号であるLDPC符号の情報ビット長、K_oは外符号であるBCH符号のパリティビット長を示す。

3　電力拡散信号は、TMCC情報ビット及びパディングビットに対して加算することとし、加算する擬似乱数符号系列は別表第二十号の十三別記1のとおりとする。また、TMCC情報の先頭でリセットすることとする。

4　反復符号化は、別記2のとおりとする。

別記1　TMCC情報の伝送方法



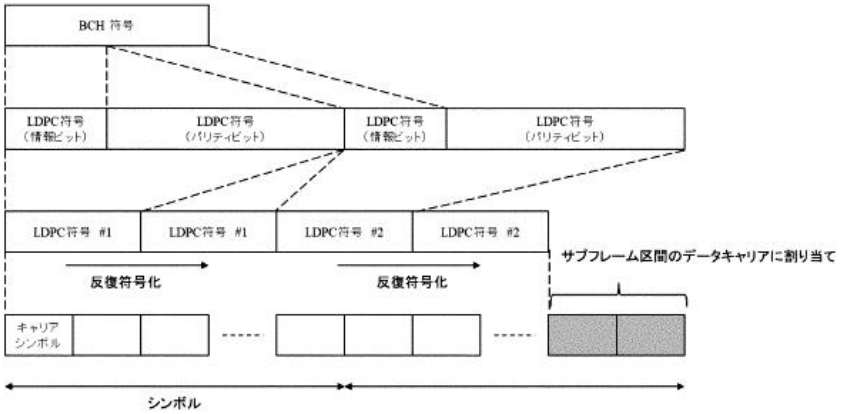
注

1　図はTMCC情報が2個のLDPC符号によって伝送される場合を示す。

2　＃NはN個目のLDPC符号であることを示す。

別記2　反復符号化

LDPC符号化された符号を下図に示すようにフレーム同期信号により指定される回数反復符号化する。なお、TMCC情報が複数のLDPC符号によって構成される場合、LDPC符号ごとに指定される回数反復符号化する。指定の回数反復符号化された信号の伝送が可能となるよう、OFDMシンボル数をTMCC区間に割り当てる。指定回数分の符号を格納した後は、TMCC区間の残りのサブキャリアを利用し、時間領域において先に配置するサブフレームの伝送耐性が強い階層のデータを順に割り当てる。



注

1　図はTMCC情報が2個のLDPC符号によって伝送される場合を示す。

2　＃NはN個目のLDPC符号であることを示す。